

b-5 なんとし南砺市のタテヤマスギ



写真 T-022

なわがいけ 縄ヶ池の じょうもんすぎ 縄文杉

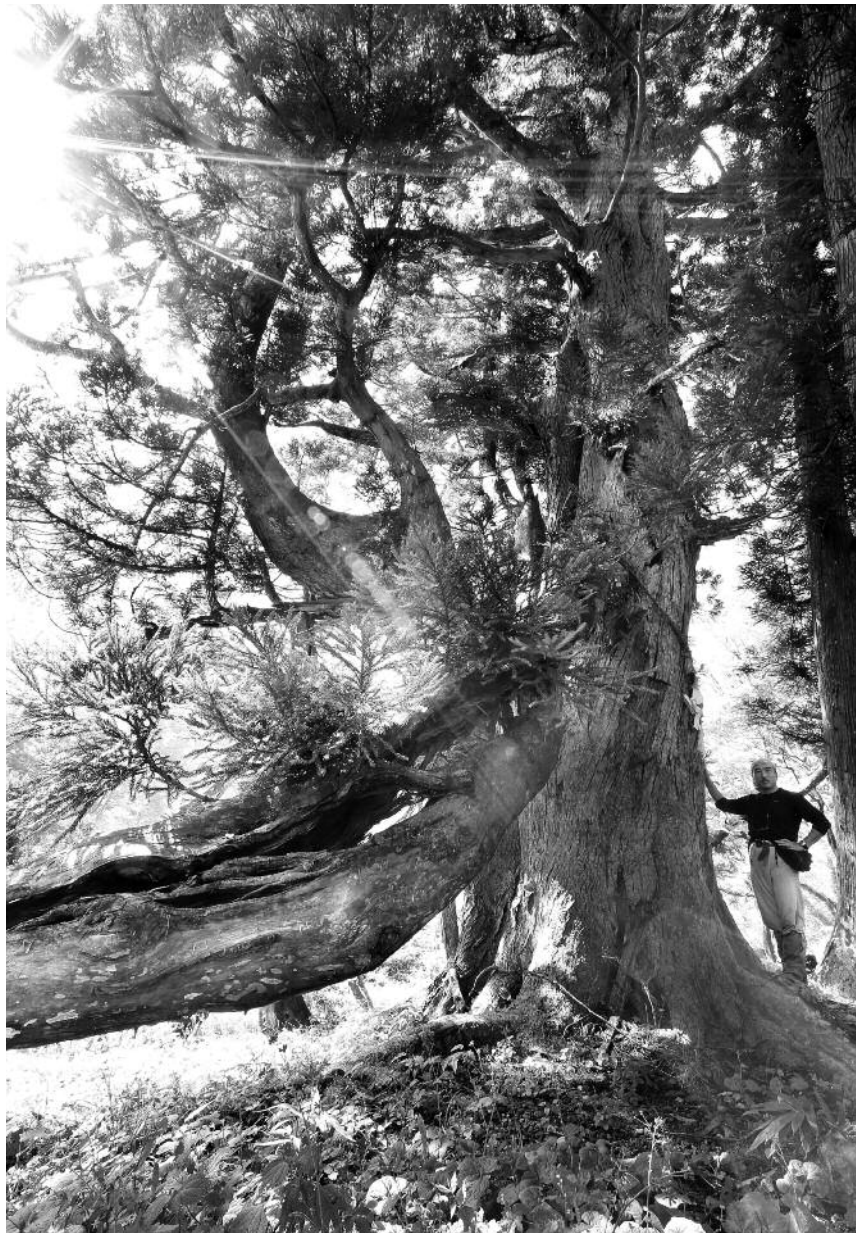
標高 960m の尾根に立つ伏条大杉で、根元で 4 分岐し、上部で 7 本の一本杉となる。元は一本のスギであり、古株更新によって、短期間にこのように巨大に成長するタテヤマスギの生命力に驚かされる。



写真 T-023

なわがいけ 縄ヶ池の せんねんすぎ 千年杉

縄ヶ池から高清水山の登山道を登る事 25 分。尾根にこのスギと前の縄文杉が立つ。双方とも珍しい伏条大杉である。根元で 3 分岐し、上部で 9 本の一本杉になっている。



五本大杉

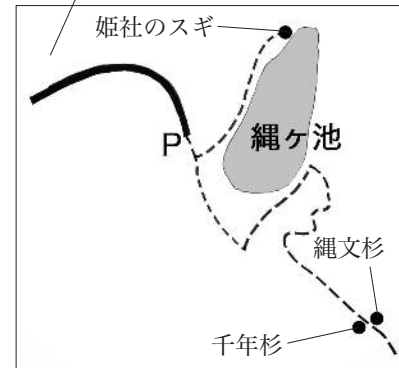
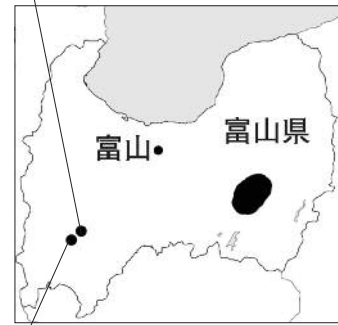


写真 T-024
なわ いけひめしや
縄ヶ池姫社のスギ

縄ヶ池のほとりに立つタテヤマスギ。縄ヶ池のご神体「姫社」の傍に立つ。2.5mで大小3分岐、分岐部から大枝が2本垂れ、一本は地面に着き、一本は手前に伸びるもので、割れながらも生きている。

写真 T-025
ごほんおおすぎ
五本大杉

散居村で有名な砺波平野から林道を登り、登山道を標高差450m、約2時間登ると、なだらかな尾根に5本の天然杉が並んでいる。

山口の位置
 北緯 36-30-13.4
 東経 136-56-51

